

2010/10/24

「堀川文化展終了」

メンバーの少なさで、ちょっとばかし心細い思いをしていた堀川文化展でしたが、は～っ👏 終わりました。久しぶりの文化展...小学校の体育館いっぱいの観客に「こんなに多かったっけ?!」と、ちょっと恐れをなしてしまいました。でも、みんなで出せる力はめいっぱい出し切って歌ったという爽快さを味わいました。

9時に小学校に集合。控室が今までの『音楽室』ではなく『ランチルーム』ということになっているということで、まずみんなで迷子に...(~_~;)。堀川小学校は何度行っても迷路のようで、わかりにくいところがあります。(何年間、PTAの役員していたのだ?! ...でも、もう12, 3年前のこと)

たどりついた部屋にはきちんと『クランツ・カーネーション様』の張り紙がありました。大切に迎えられているようで、「こういう風を書いてくれると、ほんとに嬉しいねえー🌟🌟🌟」と、思わずみんなにっこり😊❤

リハーサルをして、調子を上げていきました。あまり長いリハーサルだとくたびれるし、短いと調子が整わないし、このくらいがちょうどいい感じです。そして出番の10分くらい前の9時40分体育館ステージの舞台裏へ。ステージでは邦楽が演奏されてました。尺八をふいてらっしゃる方が見えます。次は私たち、緊張が高まってきます...いよいよ出番👏。

リハーサル通り、初めは手拍子をして階段のところで汽車の振りをつけて...「え?!こんなにステージすれすれのところに立つの?」と思うくらいステージの前の方に並びました。そうです、声を少しでも遠くへ届けるために、ステージのぎりぎり前に立つのでした。『線路は続くよ』の伴奏で入っていったら子どもたちが♪せーんろは、つづくーよ〜♪と、口ずさんでくれていたので、「おっ!なかなか、いい感触👍」と感じました。

三つの汽車の歌、ありがとう、ビリーブと夢中で歌い、あっという間に終了～。
子どもたちの反応はやはり良く知っている『ビリーブ』だったのかなと思いますが、他の歌もきいてくれていたので、良かったとほっとしました。以前、『千と千尋』や、『香取信吾のオハロック(?)』『世界でひとつだけの花』などなどをした時のような(ごめんね、知っている人だけ知っている話で)受けはなくて、ちょっとさびしかったのが個人的感想です。今はそんなに大ヒットしている歌もないし、『受けねらいの1曲』は難しいですね。予想していたレベルの反応という感じ。(冷静(^_^;))

もうひとつ個人的感想は、少ない人数で心配したけれど団結した演奏ができ、それぞれが力

いっぱい歌っていたのが印象的でした。後ろのほうまでは声が届きにくかったみたいですが、「楽しかったよ！」という感想をいただいたので、気持ち💖💖💖だけは届いたかも〜とおもいまーす。もっと、人数ふやしたいねえ🔴🔴



あれ〜...これを見ても、ステージの真ん中に「ちょこりん」という感じで、やっぱりさびしい😞でも、汽車も衣裳もなかなかいいですよ。表情もGOOD！😁

ついでに、集合写真も。演奏前ですが、みんないい表情☆

